

iOSアプリ開発体験

codience

はじめに

まずは「アプリってこうやってできているんだ！」

というのを実感しましょう。

何をやっているかわからなくて全然大丈夫です。

なんとなくの流れを体感してください。

やること

今回は開くとAppleの公式サイトを表示するアプリを作ってみましょう。

まず、xcodeを起動しましょう。

起動が終わったら

右のような図が表示されます。

真ん中の

Create a new Xcode project
をクリックしてください。



Welcome to Xcode

Version 9.0 (9A235)



Get started with a playground

Explore new ideas quickly and easily.



Create a new Xcode project

Create an app for iPhone, iPad, Mac, Apple Watch or Apple TV.

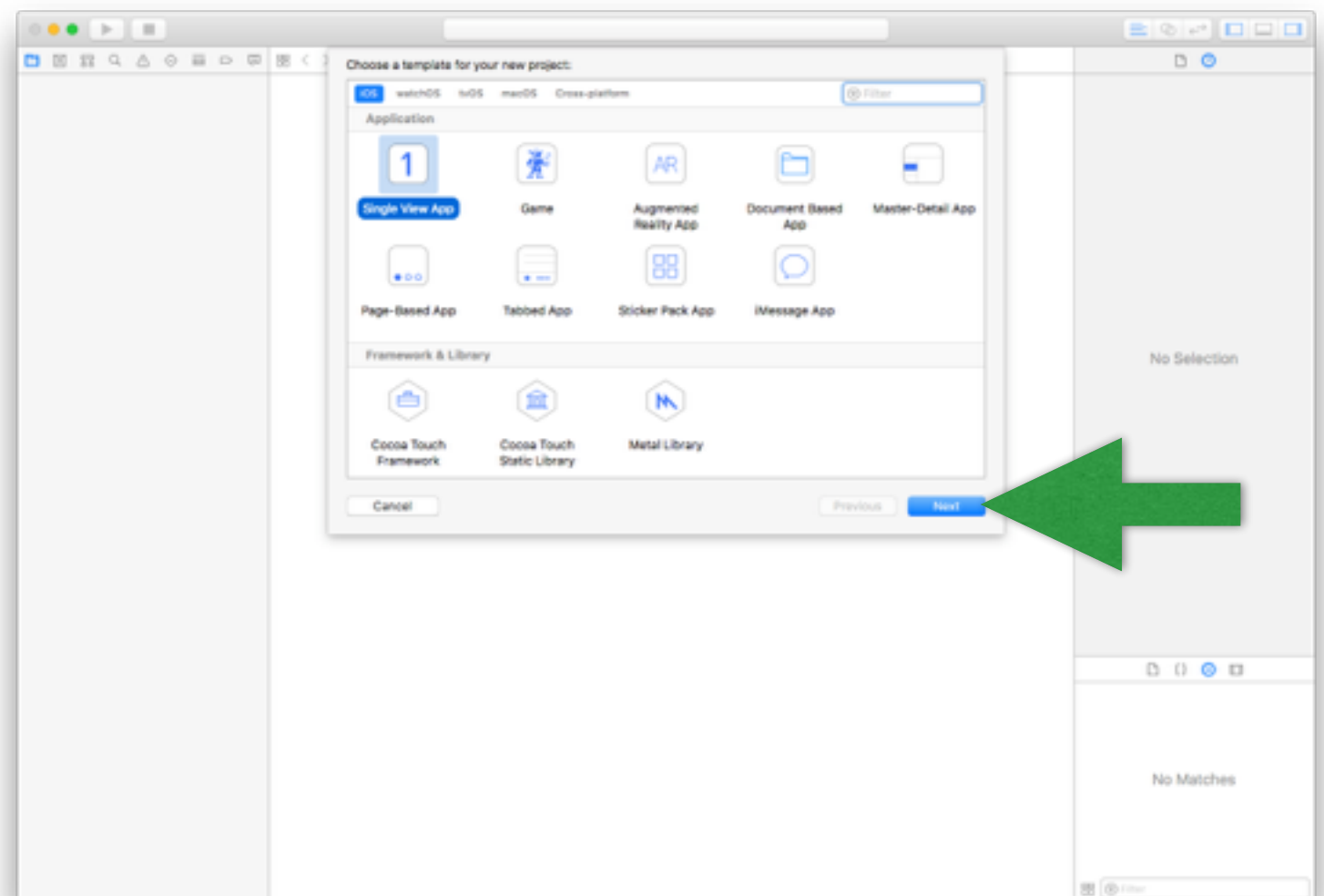


Clone an existing project

Start working on something from an SCM repository.

すると右のような画面に移行します。

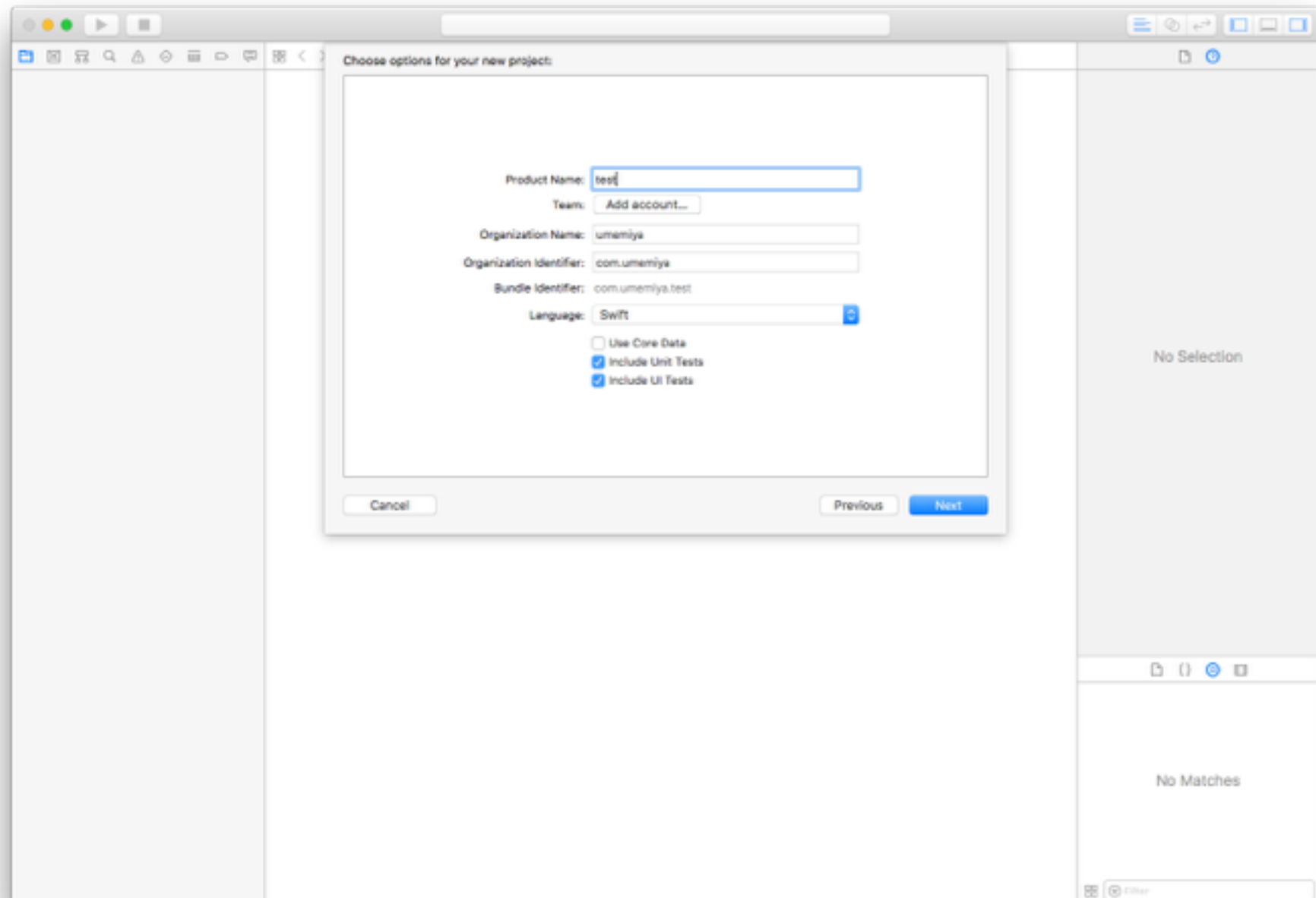
そのままnextをクリックしてください。



つくるプロジェクト名
(アプリ名) の設定が
できます。

Product Nameを
testにしましょう。

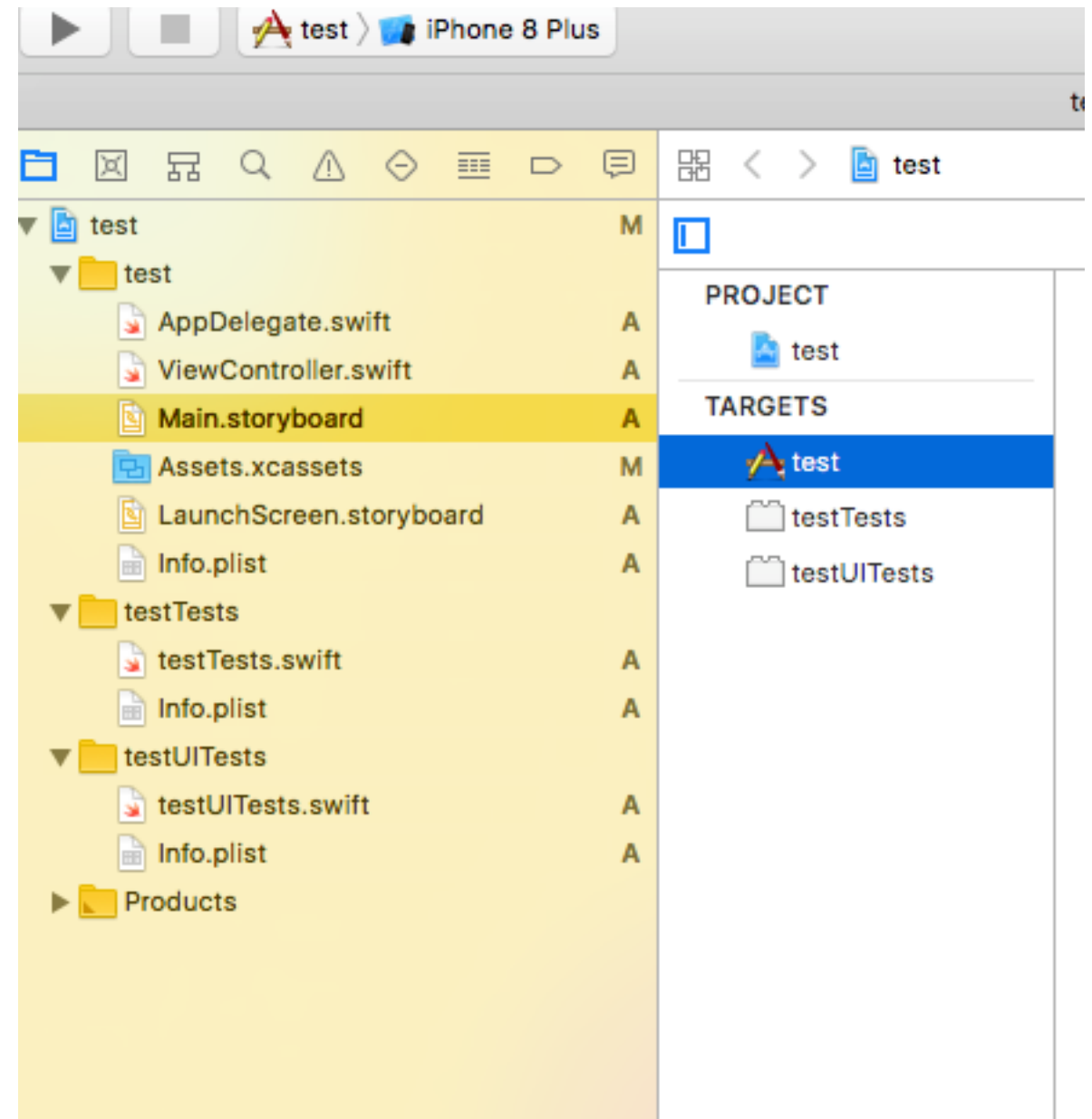
終わったら先ほどと同様
nextを押してください。



保存先を聞かれるので、desktopにしましょう。
それが完了すると開発画面に移行します。

右側のファイル一覧にある
Main.storyboardをクリック
してください。

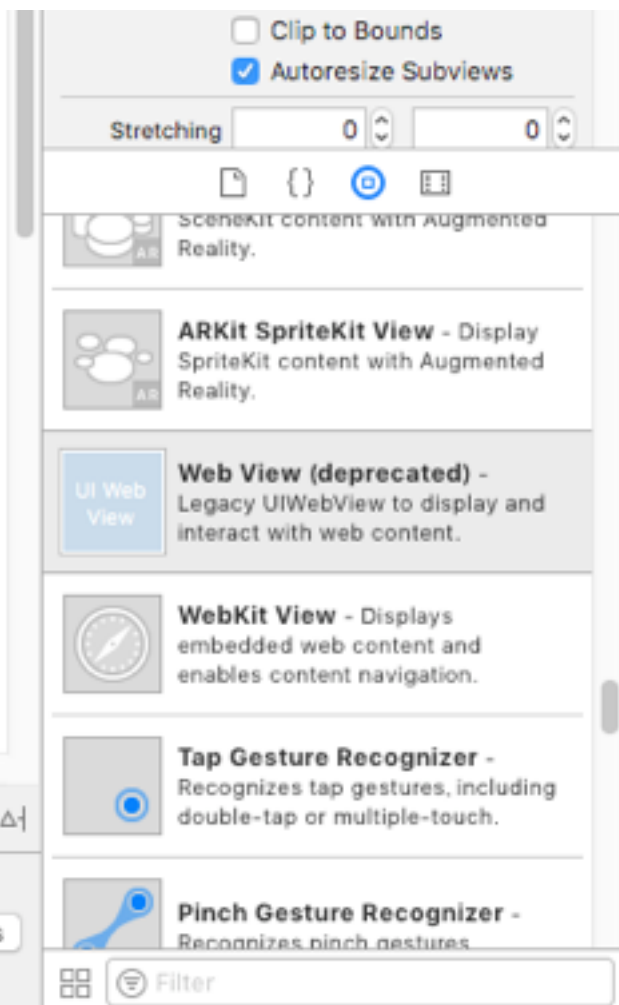
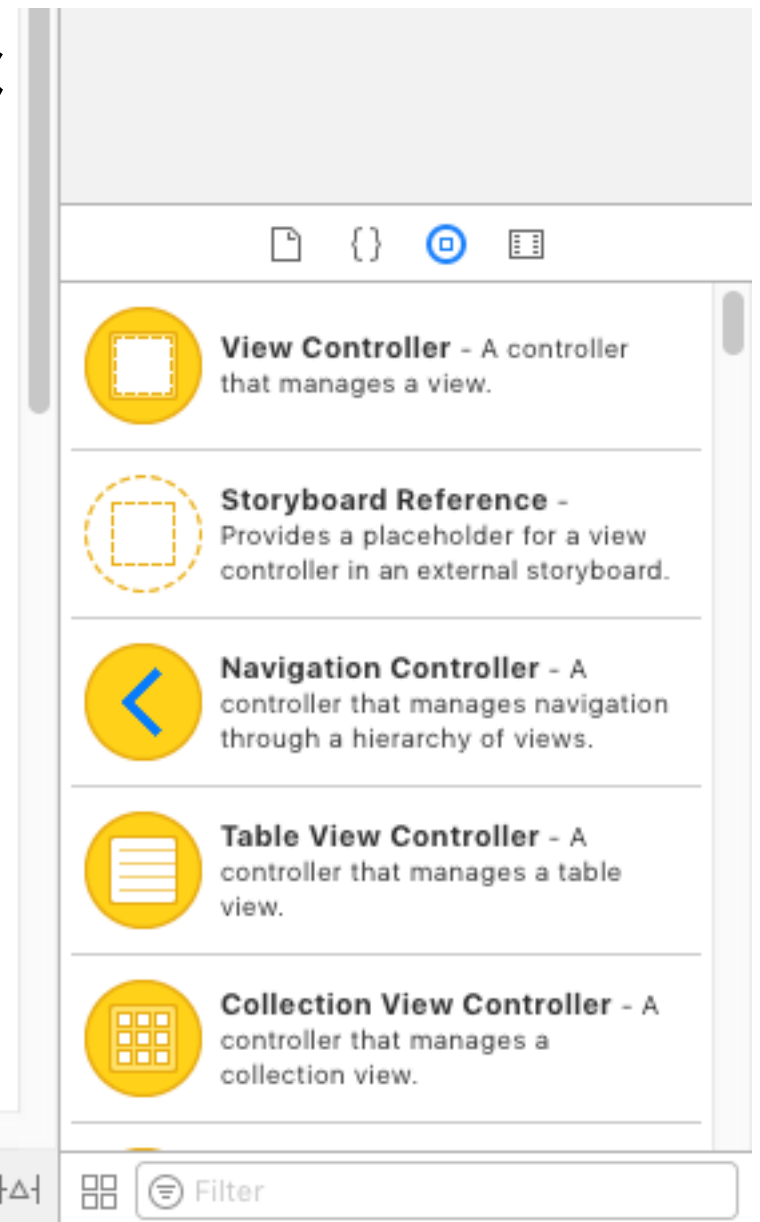
ここに色々パーツを設置してアプリ
にしていきます。



※フォルダがたくさんありますが、実際にアプリとなるのはtestフォルダのみです
testTestsフォルダやtestUITestsフォルダはテスト（デバッグ）用に使うものなので気にしないでOKです。

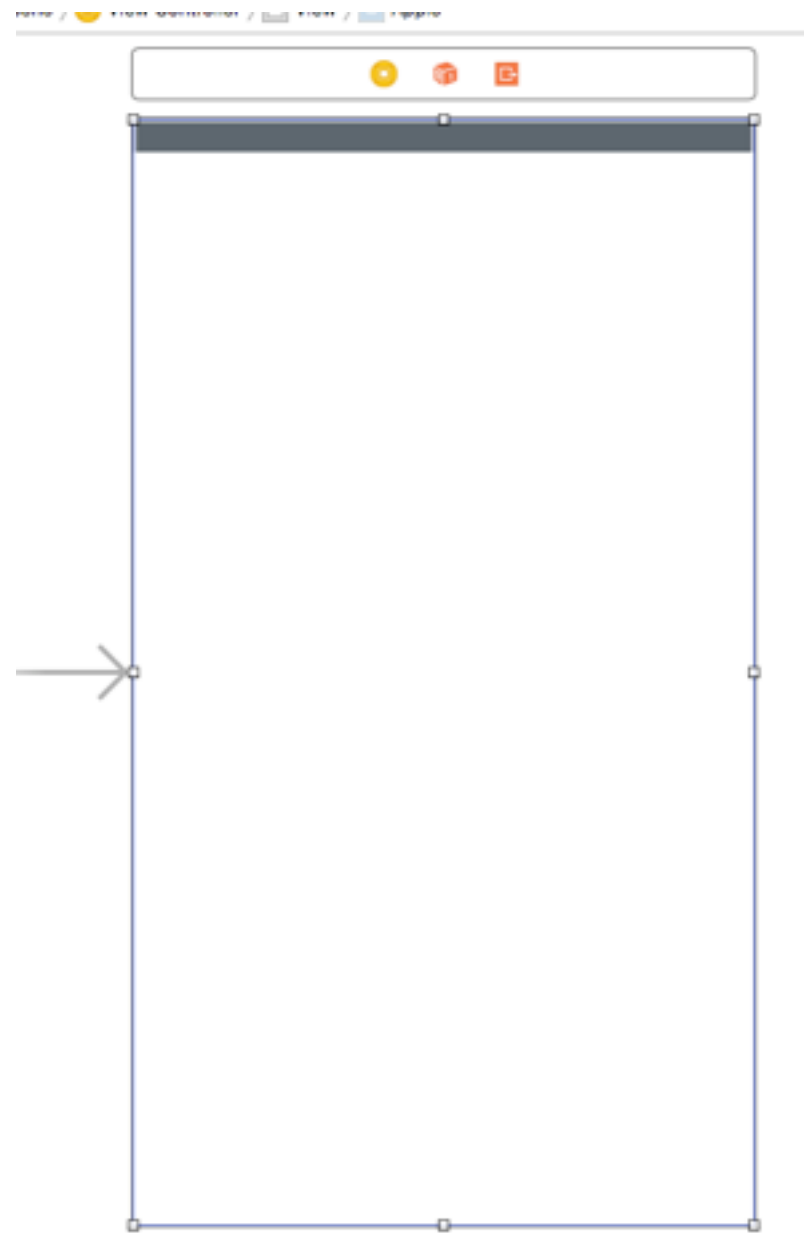
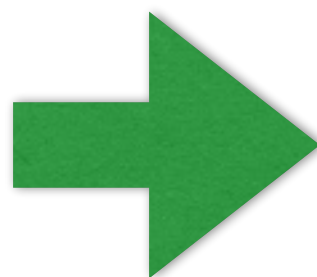
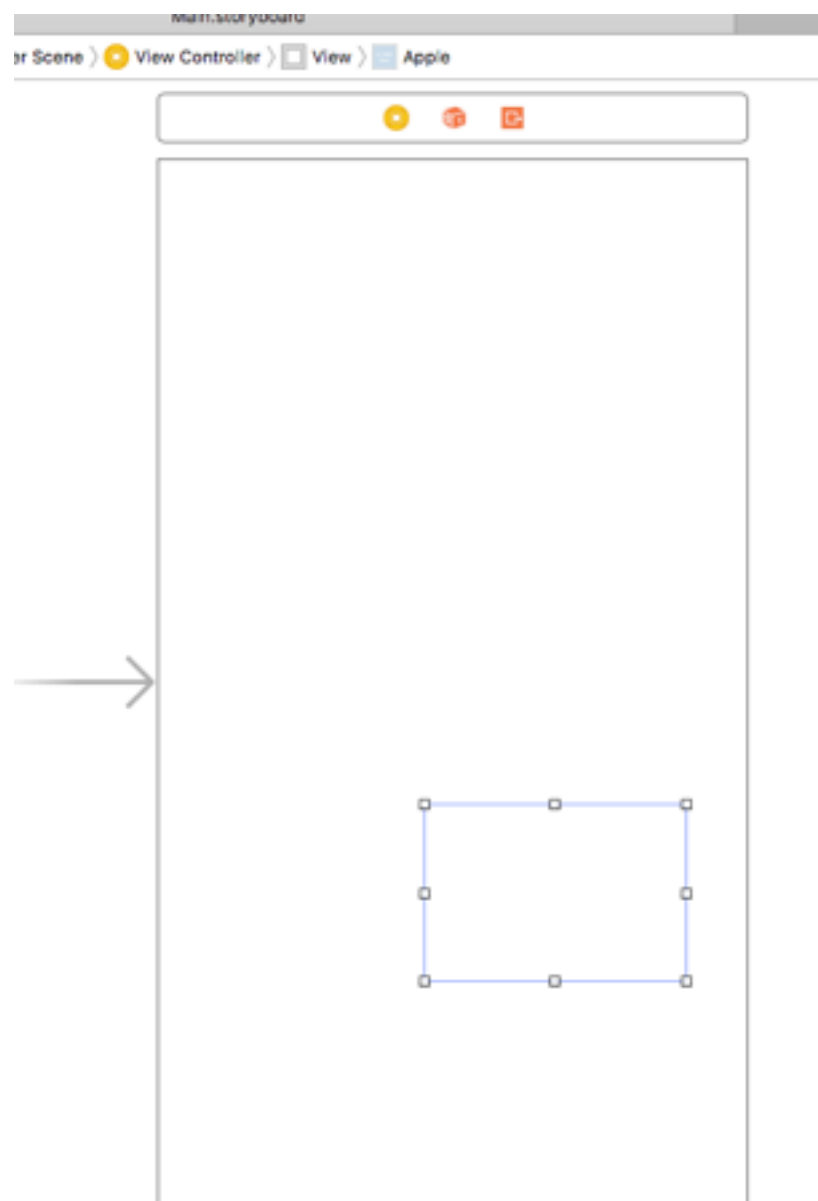
storyboardの画面になると右下に右図のようなものが出てきます。

これはアプリを構成するパーツ一覧で好きなパーツをドラッグアンドドロップすることで画面内に配置することができます。



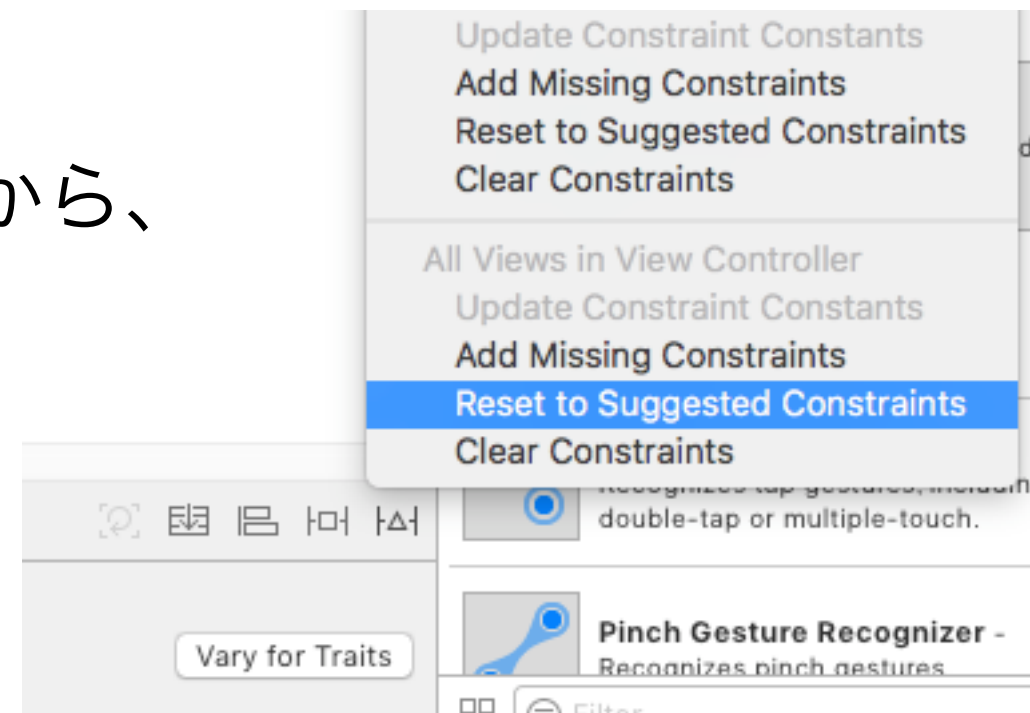
下にスクロールしていくと左図のようなWeb Viewというものがあります。

これをドラッグして画面上に配置しましょう。



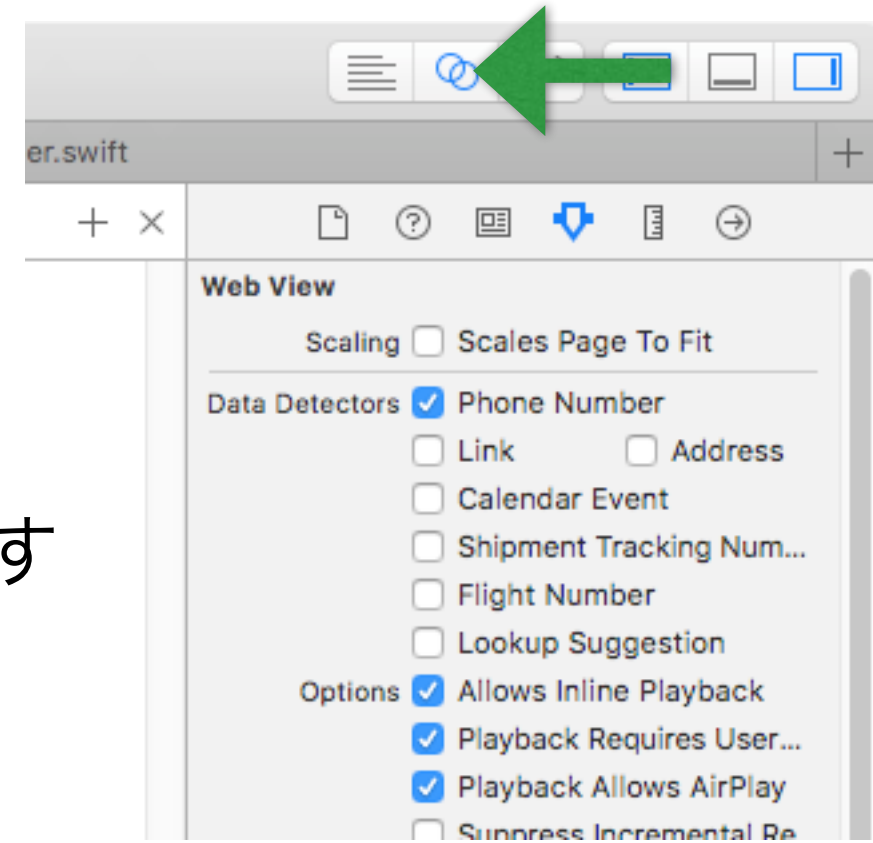
配置が終わったら、動かしたり頂点の四角でサイズを変えたりして画面全体に引き伸ばしてください。

その後右下にある三角形のような記号から、Reset to Suggested Constrainsを選択してクリックしてください。

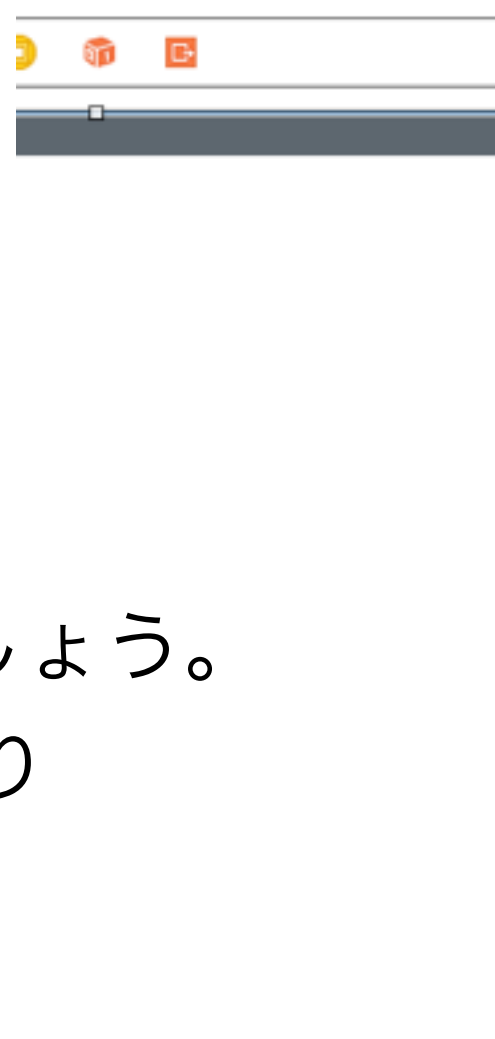


※現時点ではこれは何をしているかわからなくてOKです。
すぐに理解し使えるようになるでしょう。

次に、右上にある二つの輪のような
ボタンをクリックしてください。
ソースコードを書くフォームが表示されます



storyboard上にカーソルを合わせ
controlキーを押しながら
ソースコードの13行目あたりに
ドラッグします。
名前を聞かれるのでappleとしましょう。
図のように行数部分が●の形になり
@IBOutletとなれば成功です！



```
1 // Created by umemiya on 2017/07/30.
2 // Copyright © 2017年 umemiya. All rights reserved.
3 //
4
5
6 import UIKit
7
8 class ViewController: UIViewController {
9
10     @IBOutlet weak var apple: UIImageView!
11     override func viewDidLoad() {
12         super.viewDidLoad()
13         // Do any additional setup after loading the view
14     }
15
16     override func didReceiveMemoryWarning() {
17         super.didReceiveMemoryWarning()
18         // Dispose of any resources that can be recreated
19     }
20 }
21
22
23
24
25
26
27
```

※これは画面上のパーツとプログラムを結びつける行為を行なっています。

```
~ // Copyright © 2017年 Umemiya. All rights reserved.  
7 //  
8  
9 import UIKit  
10  
11 class ViewController: UIViewController {  
12  
13     @IBOutlet weak var apple: UIWebView!  
14     override func viewDidLoad() {  
15         super.viewDidLoad()  
16         // Do any additional setup after loading the view, typically from a nib.  
17  
18         let appleSite = URL(string: "https://www.apple.com/jp/")!  
19         apple.loadRequest(URLRequest(url: appleSite))  
20     }  
21  
22     override func didReceiveMemoryWarning() {  
23         super.didReceiveMemoryWarning()  
24         // Dispose of any resources that can be recreated.  
25     }  
26  
27  
28 }  
29  
--
```

図の通りにプログラムを書いてみましょう。
大文字と小文字の違いに注意してください。

※appleSiteというURLを持った定数を用意し先ほどのweb view(apple)に読み込ませURLを開くよう要求しているプログラムです。

お疲れ様でした。これでアプリは完成です。
あとは実際に試して見ましょう。

画面左上にある再生ボタンを
クリックしてください。
しばらく待つと選択したデバイスでの
シミュレーションが始まります。
(この場合iPhone8 Plus)

